

B

さいたまディレーブ



紹介・実績

- ・2019年設立。さいたま市を拠点にJプロツアーに参戦する地域密着型の自転車ロードレースチーム。
- ・自転車交通安全教室（累計30,000名以上）と子ども向け自転車乗り方教室（累計2,000名以上）を運営。
- ・競技活動と地域貢献活動を両輪に、学校・行政・地域イベント等と連携した活動を展開。

背景・課題

- ・さいたま市は「自転車のまち」としての土壌がある一方で、チームの認知度はまだ十分とは言えず、市民にとって「応援したい」「誇りに思える」存在となるための接点づくりが必要。
- ・道路交通法改正など自転車を取り巻くルールの変化がある中で、交通ルール理解や安全意識の向上が地域課題となっている。
- ・日常利用、通勤・通学、健康づくり、環境負荷低減など、自転車の価値をより広く発信していく必要がある。

活用可能なアセット

- ・イベントやレース会場における特設PRスペース、ロードバイクの試乗・体験機会、および所属選手の出演・講師派遣を通じたリアルな顧客体験の提供。
- ・サイクルスポーツ・競技に関する専門性と知見
- ・自転車安全教室や子ども向け自転車乗り方教室の運営ノウハウ

関連URL

- ・ホームページ：<https://sunbrave.jp/saitamadreve/>
- ・Instagram：https://www.instagram.com/saitamadreve_official/

共創テーマ①

「自転車のまち　さいたま」として市の魅力向上と自転車文化を広める取組

「住みやすいまち」として評価されるさいたま市の魅力の更なる向上や、サイクルスポーツを通じた健康増進や自転車文化の浸透に取り組みます。市民が主体的に楽しむスポーツ文化の醸成と「自転車のまち」としての価値向上を図ります。

想定するターゲット(例)

- ・健康意識が高まっているが、本格的なスポーツはハードルが高いと感じている層
- ・自転車を保有しているがスポーツとしての魅力はまだ知らないさいたま市民
- ・地元の隠れた魅力を再発見したい地域住民

具体的な取組イメージ(例)

- ・「自転車ならではの体験」をコンテンツ化するスポット周遊型の観光モデル
- ・市民がアンバサダーとなるサイクルスポーツの魅力発信コミュニティ

期待する成果・効果

- ・自転車を通じたさいたま市の魅力の発見と発信
- ・さいたま市における自転車ロードレースの価値向上
- ・便利な新しい自転車利用の促進

共創テーマ②

安全で環境にやさしいサイクルライフ推進

安全かつ環境にやさしい自転車を誰もが安心して利用できる街を目指します。青切符等の新制度導入に合わせ、市民の乗り方のギャップを解消する仕組みを検討。正しいマナーの定着を通じて事故を防ぐとともに、エコな移動手段である自転車の価値を再認識させ、環境に配慮したサイクルライフを推進します。

想定するターゲット(例)

- ・自転車通勤・通学を行う会社員・学生
- ・カーボンニュートラルを推進する企業

具体的な取組イメージ(例)

- ・交通安全教室と連動した自転車安全デジタルマップの作成
- ・市民の声を反映した次世代ヘルメットの開発

期待する成果・効果

- ・青切符導入に関連した自転車の安全な乗り方の普及
- ・安全かつエコな移動手段としての自転車の日常利用の促進